



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644
HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

空の青さが本格的な夏の訪れを感じさせる候となりました。生徒たちは、期末試験も終わり、ほっと一息ついているところです。

6月23日(日)にパシフィコ横浜で行われた「全公立展」では、20名を超える生徒たちが熱心に学校のPRを行いました。本校のブースは他校のブースの倍ほど人が訪れ、生徒たちも説明に力が入ります。本校を目指しているという小学生の親子や、いままでの文化祭や学校説明会などにすべて参加しているという中学生親子などの熱心な「ファン」も訪れ、生徒たちのアドバイスに耳を傾けていました。

これから暑い夏を迎え、夏期講習、横浜市立大学実習、SSH生徒研究発表会など、夏のプログラムが待っています。皆様の変わらないご支援を今後もお願い申し上げます。

【ルフィン・ゾマホン駐日ベナン共和国特命全権大使への花束贈呈】（5月31日）



「第5回アフリカ開発会議 横浜開催」に伴い行われた【ルフィン・ゾマホン駐日ベナン共和国特命全権大使による横浜市会本会議場での演説】にて、本校1年次の中島 慧芽（なかしま えめ）さんが、アフリカ諸国首脳へ向けて御礼を述べるとともに花束の贈呈を行いました。中島さんは中学3年生の時に、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」にて市長賞を受賞し、「よこはま子どもピースメッセンジャー」としてニューヨークの国際連合本部等へ派遣されました。その経験から、今回の花束贈呈代表者に選出されました。横浜市会のホームページにて、インターネット中継録画で当日の映像を見ることができますので是非ご覧ください。

【第55回関東高等学校ボクシング大会】（6月1日）

栃木県体育館（栃木県宇都宮市）にて【第55回関東高等学校ボクシング大会】が行われ、本校からは3年次高野隆治君（神奈川県大会でバンダム級準優勝）、3年次芥川力也君（ウェルター級優勝）が出場しました。高野君は1回戦で習志野市立習志野高等学校の選手と対戦し判定負け、芥川君は1回戦で西武台千葉高等学校の選手と対戦し1ラウンドTKO負けでした。

両選手とも高校からボクシングを始めて、関東大会という大きな舞台で試合をすることができ、非常によい経験ができました。勝利は収められませんでしたでしたが、自分の力を十分に発揮し健闘しました。この経験を生かし、さらに成長してくれることでしょう。



【アフリカ開発会議】（6月2日）



本校2年次生13名が「アフリカ開発会議」の昼食会において「アフリカの森林保護の重要性についてのプレゼンテーション」を英語で行い、「ソーラン節ダンス」を披露しました。この昼食会はITTO（国際熱帯木材機関）が外務省及びアフリカ開発会議事務局の要請により、神奈川県との共催で、パシフィコ横浜国立大ホールで国際会議出席者を対象に開催したもので、日頃からITTOと協力関係にある本校が発表の機会をいただきました。本校の発表前に、神奈川県を紹介プレゼンテーションを行った黒岩 祐治神奈川県知事が、「素晴らしい英語だったね！」と声をかけて下さり、一緒に記念写真を撮影しました。

【オープンスクール】（6月8日）

例年は「土曜講習の見学」や「体験講座等の公開」を行っていましたが、今年は本校の平常授業（平日の生活）を公開しました。午前9時から午後5時まで、合計769名（うち中学生266名、保護者428名）の方々にご来校いただきました。本校生徒の保護者も多く見られ、授業参観のような雰囲気もあったようです。

次回12月14日（土）のオープンスクールでは、例年通り、本校の特徴的な活動を公開する予定です。多くの方々のご来校をお待ちしております。



【バンクーバー姉妹校交流 ～ David Thompson Secondary School 来校】（6月11日-17日）



20名の生徒（男女ともに10名ずつ）が本校生徒宅にてホームステイを行い、本校にて授業体験や理科的な実験などを共同で行うことで親睦を深めました。今回の来校では「天体望遠鏡での太陽観察」「Welcome party」「鶏の胚とカビの実験」「剣道部訪問」「理科調査研究部による実験」などを行いました。

最終日にはホストファミリーと涙で別れを惜しんでいる姿や、バンクーバーでの再会を約束している姿が見られました。来年3月には、本校の生徒20名がDTへ通いながらホームステイをする予定です。

【サイエンスリテラシーⅠ：海の生き物のサイエンス】（6月17日）

サイエンスリテラシーⅠ「海の生き物のサイエンス」が大関泰裕先生（横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 教授）の指導のもと行われました。全体講義のあと、生徒たちは実験室に移動し2人に一匹の【ゴカイ】を渡され、観察を行いました。以前にサイエンスリテラシーで顕微鏡操作について学んでいるため、生徒たちは手慣れた様子で観察とスケッチを行いました。「心臓は何処にあるのか」「目が上向きしかなくて牙が邪魔で前が見えないはず。触角がその役割なのか」など、観察をとおして思いついた疑問や推測をまとめ、最後にグループディスカッションを行い終了しました。



【第5回 体育祭】（6月18日）



今年度はYSFH名物【サイエンス体操】に音楽が加わり、一層華やかで不思議な(?)準備体操となりました。「応援合戦」は昨年度から始まった種目ですが、各色工夫を凝らした個性的な応援合戦となりました。応援団たちは、準備や練習期間が少なかったにも関わらず、一糸乱れぬ動きを見せていました。

「粉骨砕身 ～少年よ、当たって砕けろ～」というテーマ通り、普段白衣が似合うサイエンス生も、炎天下、真っ黒になって走り、転び、叫んだ一日となりました。

【サイエンスリテラシーⅠ：カーボンナノチューブとフラレンⅡ】（6月21日）

サイエンスリテラシーⅠ【カーボンナノチューブとフラレンⅡ】が横浜市立大学の橘 勝先生（国際総合科学部 理学系 物質科学コース）の指導のもと行われました。

5月末に「リゾチーム結晶の育成」と「C60ナノウィスカーの生成」の準備をして約3週間が経過。顕微鏡をのぞいて見ると、見事に完成していました。細い線状のものがナノウィスカーで、太い棒状のものは針状結晶です。一方、きれいなコバルトグリーンの中にリゾチーム結晶が出来上がっていました。リゾチームの結晶の研究の歴史はまだ浅く、魅力に溢れる研究材料です。将来、サイエンス生がこの分野で何か発見できると良いですね。



【全公立展】（6月23日）



パシフィコ横浜で行われた【神奈川の高校展スタートアップイベント 全公立展】へ参加しました。今年度は入場者数3万5千人と（前年度比5千人増）なり、本校で用意したパンフレットも午後2時過ぎには無くなってしまいました。また、昨年度と同様に本校の生徒中心に学校説明をさせていただきました。

7-8月の予定

7月24日：終業式
7月25日：夏季休業開始
7月24日-27日：コアSSH沖縄研修
7月27日、28日：学校説明会

8月1日-2日：横浜市立大学実習
8月7日-8日：SSH生徒研究発表会
8月13日-18日：コアSSH小笠原父島研修
8月26日-9月2日：イギリスサイエンス研修